

職業奉仕月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区ガバナー 吉川 秀隆(大阪RC)

新年あけましておめでとうございます。新しい年の始まりです。36年に一度の五黄の寅年。特別な年になりそうな気がしています。私が代表を務めておりますタカラベルモントは、次の100年を歩む第一歩となる最初の年です。また、所属している大阪RCは100周年を迎えます。2660地区にとってどのような年になるのかとても楽しみです。大地を踏みしめ、蹴り上げ、空に飛び立つがごとく皆様と明るく力強く歩んでいきたいと思えます。

さて、1月は職業奉仕月間です。新年度の最初のメッセージは、「もう一度私たちを見つめ直してみませんか、そして」としました。

大都会大阪、私たち人間が作り上げた社会、この街をどのようにご覧になりますか。若者たちは、このビルに囲まれた喧騒を見て、ただ感嘆し、華やかな将来を夢みるでしょう。しかし、実際はどうでしょうか。先進国だけでなく、アフリカ、南米を旅する中で、私はもう一度私たちの地域社会を見つめ直しています。「私たちが作り上げているこの世界は、本当に美しいのか」「この世界は子供たちにとって素晴らしいのか」と考えています。進化が止まらない便利すぎる社会、ワンクリックもしくは一声で欲しいものや知識が手に入る世界です。その世界は紛れもなく私たちの英知によって作り出され、これからまだまだ変化していくでしょう。しかし、ふと考えてみると、そこに子供たちの多種多様な感性を受け入れ、刺激するものがあるのでしょうか。

私たち人間の最も素晴らしいものの一つは、感性です。その感性が様々な未知の何かを求め、新しい発見を促していきます。特に日本は、すべてのものに神が宿るという考え方を持っています。つまり、すべてに尊厳と畏怖を抱き、そこに目に見えない価値を見いだすことができるのです。しかし、技術の進歩が、家族の生活を変え、個人個人にまでその進歩の波が常に押し寄せる時代です。若者たちは、その荒波の向こうにある未知を知ることができるのでしょうか。そのような社会は子供たちにとって素晴らしい社会なのでしょうか。皆さんはどのように感じておられますか。

私たちロータリアンの根幹の一つは、ロータリーの樹に示されている職業奉仕の倫理観です。私たちは、経済の観点だけで物事を見るのではなく、私たちが人間らしく、地球とともにあらゆる生物と共存していくためにどのような活動をしていけばいいのかを考え、自分の職業を、行いを常に見つめ直さなければなりません。そして、特に私が大事にしたいのが、ロータリアン同士が互いにコミュニケーションを深め一緒に社会に力強くエネルギーを注いでいくことです。次世代への、未来社会への責任を共に果たしていきませんか。

様々なロータリアンが2660地区を支えています。その一人一人の生き方が、100年後の大阪の姿を確実にbetterなものにすると信じています。

これらの思いから最後に、メータ会長の言葉を次のように広げました。

“We at Rotary, serve to change lives, not only in the present generation, but also we serve to change lives, for the future generations”

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(2021-22年度 RI2660地区 ガバナー一月信1月号 より)

Rotary OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪 4F

会長 寺杣 晃一 幹事 平尾 彰彦 ヲグ・プログラム・広報委員長 御木 威

事務局電話(06)6344-0120 FAX(06)6344-0126 ホテル電話(06)6347-7111
E-mail:temma-rc@temmabashi-rc.com http://temmabashi-rc.com



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度RIテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

JANUARY 6 2022 NO. 2556

あけまして おめでとうございます

職業奉仕月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2556回)
- 2) 国旗およびロータリー旗に礼
- 3) ソング 君が代・奉仕の理想
- 4) 卓話 「会長新年挨拶」
寺杣 晃一 会長

<例会場 天満宮会館>

次週(1月13日)のお知らせ

- 1) 例会 (2557回)
- 2) ソング 友と呼べるのは
- 3) クラブ協議会

新年の御挨拶

会長 寺杣 晃一

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましてはご家族とともに穏やかなお正月をお迎えになられたことかとお慶びを申し上げます。

先程、大阪天満宮の神前にクラブの繁栄と、会員皆様のご健康とご多幸をお祈りさせていただきました。年度のRI会長テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を念頭に今年度、当クラブのテーマを「温かいクラブ」として、そこから奉仕活動を行いたいとの意気込みでスタート致しました。皆様の温かいご支援とご協力により上半期の運営を無事に終える事ができました。しかしながら会長としての力量不足に、未だ皆様の満足の行く運営には至ってはおおりません。本年よりコロナ感染症が終息していく事を期待致しまして、奉仕活動に加え、親睦の会として中断しておりますテーブル情報集会、ピアフレンド会、趣味の会等も再開しながらクラブ増強に繋がっていただくと願っております。

下半期にもたくさんの事業がございます。会員皆様の益々のご理解とご協力により、良きク

ラブ運営に向けて努力させて頂く所存であります。

今年1年が皆様にとりまして幸多き輝かしい年度となります事を祈念致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

** 先々週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

本日今年最後の例会となります。皆様の温かいご支援とご協力のもとに上半期の最終例会を迎えることができました。

振り返りますとコロナウイルスに翻弄された年でありました。

本年度も感染拡大の影響により、8月上旬から9月下旬までの間例会の取止めを余儀なくされました。この間ガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問、クラブ行事として職業奉仕賞授与式、秋の家族会やクリスマス家族会など多くの皆様の協力のもとに滞りなく行い得ました事、理事役員、委員会の皆様には事業の検討をぎりぎりまで調整し進めて頂きました事に改めて感謝し御礼を申し上げます。

感染症の拡大もひと段落となり、また来年初からの活動に全力で取り組んでまいります、皆様のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。皆様良いお年をお迎え下さい。

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	43名	12月23日の出席率	83.78%
国内ゲスト	2名	会員出席	31名(37名)	5週間前(12月2日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	18名	マークアップを含む出席率	100%
外国ゲスト	0名	会員欠席	6名	マークアップ実施会員	0名(欠席者0名)

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①本日1・2月卓話予定表をお届けしていますので、担当になられた方は3週間前までにテーマ及び卓話者を事務局までお願いいたします。
- ②1月13日(木)にクラブ協議会を開催いたします。本日もご案内させていただいておりますので関係各位宜しくお願いいたします。
- ③1月6日(木)の「新年初例会」は天満宮会館での開催となります。例会前に大阪天満宮にてご祈禱をして頂きます。参加のご返事を頂いております会員各位におかれましては11:30に天満宮会館にご集合お願い致します。
- ④次週12月30日(木)は定款により休会にさせていただきます。なお、事務局もお休みさせていただきます。事務局の年末年始休暇は12月27日～1月4日です。
- ⑤本日例会終了後「1月度定例理事会」を4F「銀河・銀扇の間」にて開催いたします。関係各位宜しくお願いいたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本日、卓話よろしくお願ひ致します。

吉村 圭太
今年最後の例会です。皆様のご協力に感謝いたします。

寺杣 晃一
結婚記念日にきれいなお花を、会長有難うございます。

南川 和茂
結婚記念日のお花ありがとうございました&スママセン

望田 謙三
吉村さん、本日の卓話ガンバッテ下さい。

中村 修
吉村さん卓話楽しみにしております。

小寺 寿矢
本年もありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。

末澤 正大
23日独演会チケットお買上げ感謝!

令和3年12月23日	合計金	40,000円
	累計金	1,007,840円

☆☆ 先々週(12月23日)の卓話 ☆☆

「会うことの大切さ」

吉村 圭太会員

先日、大阪市北新地においてビル火災が生じ、多くの方がお亡くなりになりました。わたくし自身、建築設計を仕事としており、考えさせられる点がいくつもあります。今回の火災において大きく2つのポイントがあると思います。1つは今

回のビルが既存不適格建築物であったため、現行利用においては2方向避難を求められなかったということ。もう一つは排煙窓が有効に機能していたかということです。

既存不適格建築とは、竣工時は適法に建てられていたが、法改正等によって、現在の法律に適合しなくなってしまった建築物のことです。

今回の建物は建築基準法により2方向避難を求められる前(法改正の前)に建てられたビルです。既存不適格建築物は、そのまま継続利用する場合には、遡及適用(2方向避難を求められない)はしません。

2つ目の排煙窓ですが、今回のビルは排煙窓が十分にその効果を発揮していたかというところです。排煙窓は重要で有害な煙を外部に逃がす役割を持っています。8年程前に発生した宝塚市役所の火事では、排煙窓が即座に開放され多くの命が助かりました。(ただし、この窓から近隣建物や上層階に火が燃え移るリスクもあり、消防法において不燃区画等では窓(開口部)の制限を受けることもあります。※協議により開口部を設けることができます。)

今回のビルにおいて排煙窓が有効に機能していたか検証する必要があると思います。

既存不適格建築物の法的な取り扱いなど、今後見直しが必要かと思いますが、それには時間がかかります。今できることとして、避難器具(避難はしごや避難袋)の任意設置、排煙窓の取り換え(より機能的なものとする「自動火災報知機との連動による自動開放」)、ビルの規模にかかわらず自主的な消防訓練(避難や消火)を定期的におこない、不測の事態に対応できるようにすることが大切です。

会うことの大切さについて 昨今の新型コロナ蔓延により、人と会うことが激減しました。

仕事においては、WEB会議や在宅(リモートワーク)等が急速に普及しました。今後、コロナ終息後もこのような働き方が主流になるのでは、などとも言われていますが、私はしっくりきません。会うことがなぜ大切かというと、その場やそこにいる人たちが自然に作り出している空気を感じることができるからです。空気を読むとよく言いますが、暗黙のうちに要求されていることを把握しないと人間関係も仕事もうまくいかないと思います。そして何よりも会うことで様々な緊張やストレスは感じますが、そのあとも何とも言えない心地よい気持ちに包まれます。そういう時間は私にとってとても大切です。

♪大阪天満橋ローターアクトクラブ♪
1月第1例会のお知らせ

日時: 1月12日(水) 19:30~21:00
内容: 「新年初例会&前期振り返り」
場所: 中之島ソーシャルイートアウェイク(中之島中央公会堂B1)
Zoom(リアルとZoom同時開催)
登録料: 調整中で御座います(Zoom 1,000円)
※RCの方はZOOMでのご参加でも、お振込みで1000円頂戴致します。
登録先: 幹事 藤戸 凌 termabashi@2660rac.org
登録締切: 1月7日(金) Zoom: 1月11日(火)

♪大阪天満橋ローターアクトクラブ♪
1月第2例会のお知らせ

日時: 1月19日(水) 19:30~21:00
内容: 「「オクチノニオイ」
代表柳澤弘子様を招いた
~歯科衛生士による口腔ケア~」
場所: 中之島ソーシャルイートアウェイク(中之島中央公会堂B1) 予定
Zoom(リアルとZoom同時開催)
登録料: RC 3,000円(Zoom 1,000円)
※RCの方はZOOMでのご参加でも、お振込みで1000円頂戴致します。
登録先: 幹事 藤戸 凌 termabashi@2660rac.org
登録締切: 1月14日(金) Zoom: 1月18日(火)

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

松花堂弁当

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の生業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ
我等のロータリー

作曲 萩原英一
作詞 前田和一郎
元東京RC

職業奉仕月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区 職業奉仕委員会
委員長 上甲 悌二
(大阪南RC)

職業奉仕は難しいとよく言われます。私自身もそのように思っておりました。一方、職業奉仕に関しては、これまで多くのロータリアンがさまざまな意見を述べられており、どれが「正解」であるという答えはないのではないかとも思います。

しかし、ロータリーの歴史と変遷を振り返り、ロータリーのモットーである「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」「超我の奉仕」の意味を考え、われわれが日常的に唱和している「四つのテスト」を理解し、「ロータリーの樹」をご覧いただければ、少なくとも、その基本的な考え方は理解できるのではないかと思います。

職業奉仕の理念は、ロータリーの創設以来、提唱、議論され、今日まで脈々と受け継がれてきている貴重な資産であると思います。その位置づけについては、いろいろな議論があったとしても、職業奉仕の理念を理解し、ロータリアンが自己の職場や生活でこれを実践し、また、利害関係者、取引先、あるいは、地域などにも広めていくことは、意義あることであり、とくに、昨今のさまざまな価値観が敷衍し、混迷している時代であるからこそ、ロータリーの存在価値を示し、社会に貢献することができるのではないかと思います。また、各ロータリアンが、このような職業奉仕の実践をすることにより、なによりも自己の成長をもたらすことができるものと思います。

地区職業奉仕委員会では、各クラブの職業奉仕委員長に、まず、職業奉仕についての理解を深めていただき、各クラブでその発信および実践をしていただきたいと考え、活動してまいりました。先般、実施されました職業奉仕委委員長会議の資料については、2660地区のHPの当委員会の欄にアップしており、その中で、職業奉仕の歴史と変遷や四大用語の解説などをみていただけるようにしております。

職業奉仕月間に寄せて、すべてのロータリアンの皆様に、いまいちど職業奉仕の理念を振り返っていただき、その理解を深め、また、ひとつでも実践をして

(2021-22年度 RI2660地区 ガバナー月信1月号 より)